

～低利用魚・低利用部位を使った粉末商品の販売促進～

浜っ粉協議会（島根県浜田市）

背景・課題

水揚げ量減少及び地域ブランド化推進等により、加工原料向け水産物の調達が難しくなっている。
また、旋網や底曳き網漁業従事者の減少に加え、漁獲してもサイズの不揃やロットがまとまらない、知名度が低い等の要因で未低利用となっている魚や、加工残渣などの廃棄されている部位について有効利用が求められている等、地域漁業者を取り巻く環境が厳しい状況である。

取組のポイント

- ・ 浜っ粉協議会を立ち上げ、地域内外の事業者や研究機関、行政機関等で連携し、加工残渣や未低利用魚を原料とした粉末商品の開発に着手。
- ・ 粉末商品を栄養機能食品としてアピールし、本格販売に着手。業者向けとしてうま味調味料やだし、香り付け用商品。介護食や給食等の栄養補助食品等、様々な業態に向けての販路開拓に取組む。
- ・ 構成員各社の既存販売商品のレベルアップに粉末商品を使用するとともに、員商品の開にも取り組む。

取組の成果

パイガイ、ノドグロ等を原料とした粉末商品が10種類に増え、ラインナップが充実。特にノドグロの粉末商品は販売先からも高評価。
サバの缶詰等既存商品に粉末商品を足すことで、より高い栄養価の商品づくりを実施。介護食業界等新規の問い合わせ増加。
たいあじこ等の新商品を開発し、飲食店等の業務用、小売り用と業態やニーズに合わせた販路開拓に成功。

プロジェクトフロー

浜っ粉協議会

地域活性化のため、水産業だけでなく、地域産業と連携した取り組みが必要。

低利用魚や加工残渣を有効利用した粉末商品を開発
粉末商品単独ではなく、既存商品に加えて栄養価の高い商品として販売

粉末商品の販売により、未低利用資源の有効活用が実現
異業種間コラボも活性化

地域水産加工業者等

水揚げ量減少や地域ブランド化等により加工原料が減少
低利用魚や加工時に生じる加工残渣の有効利用が必要

粉末商品の原料となるノドグロやパイガイ、加工残渣等の安定供給に取り組む

粉末商品の本格販売により、販売量増加及び魚価向上

小型粉末機



粉末商品



粉末を利用した新商品

